

令和4年度第1回湘南西部地区保健医療福祉推進会議
資料2-2

東海大学大磯病院の廃止による地域医療への影響

大磯町 町民福祉部スポーツ健康課健康増進係
二宮町 健康福祉部子育て・健康課育成相談班

令和4年9月5日

本日の説明事項（目次）

1. **東海大学大磯病院について**
2. **中郡（大磯町・二宮町）の地域医療と東海大学大磯病院の役割**
 - （1）救急医療体制への影響
 - （2）災害時医療体制への影響
 - （3）住民への影響
3. **中郡（大磯町・二宮町）の方針**

1. 東海大学大磯病院について

1. 東海大学大磯病院について

所在地	神奈川県中郡大磯町月京21番1号						
医療機関の現状							
令和3年度 病床機能報告		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計
	許可病床数	8床	279床	床	床	25床	312床
	稼働病床数	8床	279床	床	床	床	287床
診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、脳神経内科、腎内分泌代謝内科、腎泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科 計23科						
指定・届出等の状況	救急病院(告示・輪番)						
特徴	中郡(大磯町・二宮町)で唯一の入院病床を持つ医療機関, 救急告示医療機関, 大学の付属病院 産科は行っていない						

※ 新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、神奈川モデル認定医療機関として陽性患者の受入れを行っていること等から、現時点の実際の稼働病床は病床機能報告上の病床数と異なる

2. 中郡（大磯町・二宮町）の地域医療と東海大学大磯病院の役割

2. 中郡(大磯町・二宮町)の地域医療と東海大学大磯病院の役割

(1) 救急医療体制への影響

東海大学大磯病院は中郡(大磯町・二宮町)での救急告示病院であり、中郡(大磯町・二宮町)の夜間一次救急医療の受け入れ、また平塚市、中郡(大磯町、二宮町)の広域二次救急医療についても受け入れしており、多くの患者が救急医療を受けている実績があり、東海大学大磯病院が廃院となると、他の病院への負担が増加し、地域の救急医療体制への影響が避けられない状況となる。

また、同病院は中郡(大磯町・二宮町)で唯一の救急病院であり、廃院となった場合は、隣接市である平塚市内の救急病院へ患者を救急搬送しなければならず、救急車での搬送距離や時間が延びることで、一つの救急に係る所要時間が増大し、救急車の稼働率等に大きな影響が発生し円滑な救急活動業務の運営が困難となる。

令和3年度 救急搬送医療機関の実績

大磯町

医療機関名	転院搬送人数	それ以外の搬送人数	搬送人数計	構成比
東海大学大磯病院	3	347	350	23.21%
平塚市民病院	23	679	702	46.55%
平塚共済病院	5	297	302	20.03%
東海大学医学部付属病院	83	31	114	7.56%
その他の医療機関	7	33	40	2.65%

二宮町

医療機関名	転院搬送人数	それ以外の搬送人数	搬送人数計	構成比
東海大学大磯病院	17	461	478	34.41%
平塚市民病院	11	491	502	36.14%
平塚共済病院	6	257	263	18.93%
済生会湘南平塚病院	0	4	4	0.29%
その他の医療機関	11	131	142	10.22%

《大磯・二宮両町消防本部からの情報提供に基づき作成》

2. 中郡(大磯町・二宮町)の地域医療と東海大学大磯病院の役割

(2) 災害時医療体制への影響

東海大学大磯病院は、中郡(大磯町・二宮町)の各町と災害用医薬品等の備蓄に関する協定書を締結しており、災害時備蓄医療品の保管について行っている。

また、地震、風水害等による災害発生時には、各町の応急救護所からの要請により、患者受け入れをする後方支援病院として医療支援活動を行う協定を締結しており、災害時に備えて応急救護の訓練として、中郡(大磯町・二宮町)の2町と平塚保健福祉事務所を含め、日頃より連絡体制の確認を行っている。

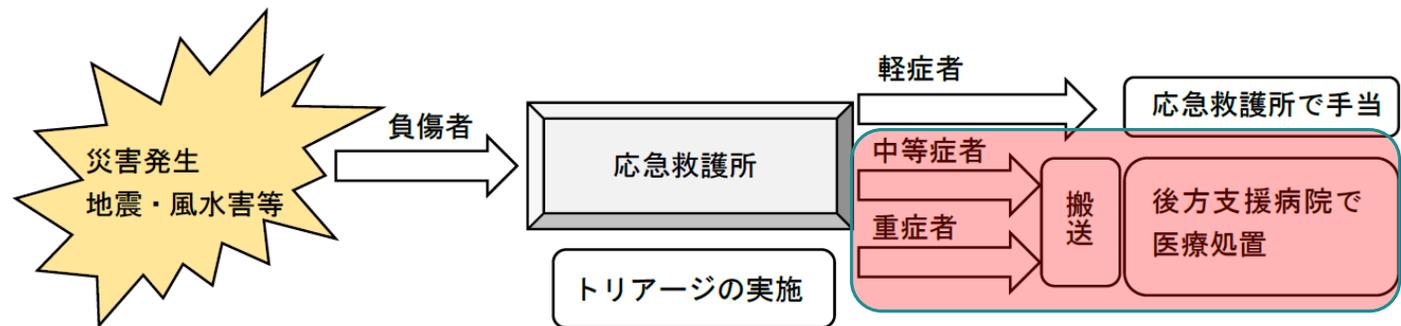
東海大学大磯病院が廃院となった場合には、**病院で行う医療的な管理が必要となる災害時の備蓄医療品の保管が困難になることと、応急救護所から搬送された傷病者に対する医療処置を行う病院が中郡(大磯町・二宮町)から無くなり、災害時の医療体制について、大きな支障をきたすこととなる。**

中郡における地震被害想定死傷者数(神奈川県西部地震を想定)

地域	中等症者数	軽症者数
二宮町	50	60
大磯町	20	30

《神奈川県地震被害想定調査報告書(概要版)資料より》

後方支援病院への搬送イメージ図



2. 中郡(大磯町・二宮町)の地域医療と東海大学大磯病院の役割

(3) 住民への影響

東海大学大磯病院は、昭和59年4月に開院し、以来38年の長きにわたり、中郡(大磯町・二宮町)の医療拠点として周辺住民から頼られ、親しまれてきた病院である。

中郡(大磯町・二宮町)で唯一、人工透析を含む多くの診療科目と病床を持っており、また夜間一次救急や広域二次救急医療などの救急医療を担っている総合的な病院であり、**廃院となった場合には中郡の地域内では多岐にわたる診療や入院を行える病院施設が無くなることとなり、中郡(大磯町、二宮町)の住民について、医療機関の空白地域が生まれ、隣接市の病院までに通院をしなければならなくなり、医療を受ける住民に対し大変な支障が生じてくる。**

令和3年度 地域別受診者の実績

地域	外来患者数(延べ)		入院患者数(延べ)	
中郡計	89,753人	59.6%	17,779人	46.2%
(二宮町)	(42,793人)	(28.4%)	(9,075人)	(23.6%)
(大磯町)	(46,960人)	(31.2%)	(8,704人)	(22.6%)
その他の地域	60,797人	40.4%	20,659人	53.8%
合計	150,550人	100.0%	38,438人	100.0%

《東海大学大磯病院からの情報提供に基づき作成》

※参考:中郡及び平塚市内主要病院の位置図



《参考》東海大学大磯病院から各病院までの距離等

平塚市民病院	7.1km	車17分
平塚共済病院	10.0km	車20分
済生会湘南平塚病院	10.9km	車21分

【google:車移動の検索結果】

3. 中郡（大磯町・二宮町）の方針

3. 中郡(大磯町・二宮町)の方針

- 東海大学大磯病院は、中郡地域の中で唯一の救急受け入れ並びに多岐にわたる診療や入院を受け入れる事のできる総合的な病院として、地域医療の中心的な役割を担っている。
- また、当該病院は新型コロナウイルス感染症について早期から対応し、現在も神奈川モデル認定医療機関として、コロナ陽性患者の受入れを行っている。
- 中郡としては、地域医療の供給体制に空白を生じさせないためにも、病床の取扱いについて県に特段のご配慮をお願いしたい。